

# ガンコ親父の

昨年十二月に種子島から打ち上げられた「ハヤブサ2」が、目的地・リュウグウへの航行に必要な地球スイングバイを先日完了した。順調なニュースが流れ、松次郎は安堵した。七年以上の航行で、多くの機能を失いながらも満身創痍で地球に帰還した、初代探査機の健気な姿に感動させられて以来の「ハヤブサ」ファンだったからだ。

それに比べ、なんだろう、この息子「学」のていたらしく。家で一緒に飲もうというので、久しぶりに二人で一杯やったのだが、何ひとつ不満のない状況のはずなのに、愚痴をたらたらと述べ続けた。あのハヤブサとは根性が違う。

会社内のプロジェクトチームに入ったものの、リーダーである上司の意見ばかりがまかり通り、学の主張などは全く取り上げられたことがなかったという。

「親父と一緒に飲めよな、頑固に人の意見を聞き入れないところはお前だ、俺美黒糖焼酎は松次郎がむっとするような言葉を吐いた。」

さらに「革新的な考え方が必要だ、とか云いながら、結局以前と変わらない発想なんだよな。若いもんの考えなんか、はなから生かすつもりはないんだ」と語気を強めた。

「それは、お前の案がつまらんからじゃないのか？学なあ、俺のことを頑固だ、頑固だと言ってるけど、自分の頭の方が凝り固まってるんじゃないのか？なあ、もつと『客観的』に見たり考えたりはできないのか？」

台所でその話を聞いていた貴代は思わず吹き出した。松次郎が「客観的」という単語を知っていたのが信じられなかった。それは結婚以来、初めて聞いた奇跡的な瞬間だった。

面白そうだったので「私にも二杯ちょうだい」と手を拭きながら松次郎の隣に座りこみ、学にお湯割りを作らせた。そして、子供を寝かしつけた後だからと、学の嫁・花菜を連れて来た。

「さあ、我が家の頑固者プロジェクトチームの忘年会だわね」と貴代はぐいっとお湯割りを流し込んだ。「お父さんはもちろん頑固だし、学も反抗しながら頑固になって来たし、花菜ちゃんもその心遣いは頑固級。私だってお父さんに鍛えられたおかげで、へこまない精神構造になってしまったわ。」

まあ、それも頑固といえるかもね」と笑った。今夜の松次郎はそんな頑固者達に囲まれて楽しかった。そばでは「しまっちゅ伝蔵」の一升瓶も喜んでいようだった。こいつのうまさも頑固だな。そして、この我が家の「頑固者プロジェクト」は案外、ハヤブサプロジェクトのように、最後はきちんとして良い答えを出せるのではないかと思うと、なぜか頬が緩んだ。

そのとたん、階上からガタンと大きな音がして、孫の譲(ゆずる)の強烈な泣き声が聞こえて来た。まずい、とばかりに花菜と貴代は顔を見合わせた。譲は一度泣き出したら、止まらないからだ。それは頑固な泣き声だった。プロジェクトに僕も加えてほしいということなのだろう、と松次郎は思った。良い夜だ。

ひとつ、譲にはクリスマスプレゼント物としてハヤブサのフィギュアでも買ってやるか。



しまっちゅ  
伝蔵  
でんぞう

常圧蒸留

昔ながらの手造り  
こだわり焼酎

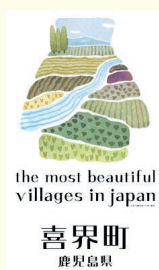
喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

25度  
好評発売中

喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12  
TEL 0997(65)0251



# チームに乾杯!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。